

がん予防等対策の取り組みについて

議題2

※令和7年(2025年)7月3日付健推発第000158号「健康くまもと21基本計画に係る取組状況調査について(依頼)」にてご回答をお願いしました取組状況のうち、がん対策に関するものについて抜粋

取り組み項目		(1)がん予防等対策			
指標項目	15	75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	基準値	実績値	目標値
			R2	R4	R17
	16	がん検診受診率の向上 (市が実施するがん検診のほか、職場検診、人間ドック等を含む)	126.4	123.4	減少傾向
		基準値	実績値	目標値	
		R5	R5	R17	
		肺	24.9%	60%	
		胃	35.3%	60%	
		大腸	30.1%	60%	
		乳	55.7%	60%	
		子宮頸	58.8%	60%	
取り組み施策	概要				
施策1 がん予防	がん検診の受診率向上、ワクチン接種の促進や、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。				
施策2 がん医療・がんとの共生	がんに関する治療法についての情報発信や相談支援に取り組む。				

1. 令和6年度の関係機関・団体における主な取り組み状況

具体的な内容等	
施策1	受診機会の喪失を防ぐべく、より効果的な受診勧奨を実施し、受診率向上を目指す。【熊本市医師会】
	節目検診、妊婦歯科健診などの折に口腔粘膜疾患を精査し、粘膜病変の早期発見に努める。【熊本市歯科医師会】
	(結核・ガン予防キャンペーンに参加) 熊本県総合保健センター主催の「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと」に健康を守る婦人の会で参加。がん検診の受診率向上、がんに対する正しい知識の普及啓発を行う。【熊本県歯科衛生士会】
	加入者本人を対象に、特定健診にがん検診項目を加えた「生活習慣病予防健診」を実施。受診率の向上に努めた。【全国健康保険協会熊本支部】
	事業場の産業保健スタッフ等を対象とした、生活習慣病の予防、禁煙の健康影響に関する研修会を実施。【熊本産業保健総合支援センター】
	講習会等の中でがん検診受診の啓発を実施【熊本市食生活改善推進員協議会】
施策2	イベントで患者数が増加している大腸がんや乳がんを対象とし、モデルやパネルを利用し普及啓発を図った。合わせて特定健診の重要性も説明した。【東区代表】
	がん検診受診者を対象にわかりやすいがん啓発情報の発信。【熊本市医師会】
	事業所向けセミナー(出前講座)の実施。【全国健康保険協会熊本支部】
	労働者数50名未満の事業場を対象に定期健康診断の有所見者に対する医師の面接指導や保健指導等を実施している。【熊本産業保健総合支援センター】

2. 令和7年度からの関係機関・団体における新たな取り組み

具体的な内容等	
施策1	熊本市全大腸内視鏡検査の実施(予定)。【熊本市医師会】
(参考) 関係機関・団体における感染症に配慮した取り組み	
感染症に配慮したの取り組み内容 ※再掲	・受診者に対する感染リスクの注意喚起とともに感染状況を常に把握し、有効な対策を講ずる。【熊本市医師会】 ・従来通りのスタンダードプレコーションにて対応【熊本市歯科医師会】

3. 令和6年度の行政における主な取り組み状況

具体的な内容等	
	肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんの5つのがん検診及びピロリ菌感染の有無を調べる胃がんリスク検査を実施した。
	ホームページにて「がんを防ぐための新12か条」を周知した。
	がん対策企業等連携協定締結企業と連携し、がん検診パンフレット及び啓発カードを配布した。
	がん検診対象者へ個別受診勧奨はがきを送付した。 ・乳がん(41歳)、子宮頸がん(21歳)検診無料クーポン券及び検診手帳の送付 ・退職者世代(62, 66, 68, 70歳)へがん検診のお知らせを送付 ・胃がんリスク検査対象者の一部の対象者(41・45・49歳)へお知らせを送付 ・節目年齢の方(40・50・60歳)へ大腸がん郵送検診のお知らせを送付 ・乳がん(40~60代)、子宮頸がん(20~30代)ハイリスク世代の方へ受診勧奨はがきを送付 ・乳がん(40~50代)、子宮頸がん(20~30代)ハイリスク世代の方へ再受診勧奨はがきを送付 ・乳、子宮頸がん検診無料クーポン券対象者へ再受診勧奨はがきを送付
施策1	市政だよりやSNS、ラジオ等によりがん検診の受診を啓発した。
	5がん検診の実施及び胃がんリスク検査を実施した。
	子宮頸がんワクチンのキャッチアップの接種について、未接種者への個別の通知、市長記者会見やSNSの活用等、様々な機会を活用して勧奨を行った。
	児童健診や民児協議会等の地域組織、サロンや子育てサークル、地域のイベント等でがん検診の受診勧奨実施。
	高齢者サロン、民協会議、自治協議会、社協ブロック会議、すこやか栄養セミナーを通して、がん検診の啓発を実施した。
	児童健診の中で、保護者を対象にがん検診のリーフレットを配布し、啓発を実施した。(前年度から継続)
	すこやかくまもと栄養セミナー(食生活改善推進員養成講座)にて、がん発症を予防する為の生活習慣を啓発した。
	校区民生委員児童委員協議会定例会、8020推進員・食生活改善推進員の育成講座、校区単位の健康まちづくりの取組等を通して、がんを早期発見するため検診の受診勧奨を実施。
施策2	がん相談ホットラインを設置し専門相談員による相談・情報提供のほか、働き＆子育て世代のためのがんサロンの定期開催や市民講演会等を開催し、がん患者とその家族、関係者へ相談支援・情報提供を行った。
	年間を通して市ホームページや市政だより、LINE等を活用し、がん相談支援センターーやがん相談ホットライン、アピアランスケア推進事業、緩和ケア、就労支援等の情報提供を行った。
	熊本県がん診療連携協議会の部会やがんサロンネットワークくまもと理事会等に参加し、相互に情報共有を行い、市民や関係者に対してのがんに関する情報発信を協力して行った。

4. 令和7年度からの行政における新たな取り組み

具体的な内容等	
	がん検診対象者の79歳までの方全員に個別受診勧奨はがきを送付した。
施策1	全大腸内視鏡検査の無償実施を開始。
	子宮頸がんワクチンについて、新たに、保護者と学校等との連絡アプリを活用した周知を行う等、効果的な啓発・勧奨を実施する。
施策2	40歳未満の末期がん患者やその家族の負担を軽減し、最期まで自宅で安心して療養生活を送れるよう、訪問介護や福祉用具の貸与などの介護サービスの利用料を一部助成する「若年がん患者在宅療養生活支援事業」を開始した。

(参考) 行政における感染症に配慮した取り組み

感染症に配慮したの取り組み内容 ※再掲	
------------------------	--

※参考

熊本市がん検診受診率(全人口による算出)職場健診、人間ドック等は含まず

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
肺がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,443	22,679	20,000	21,233	21,142	20,748	17,071	19,015	20,712	26,732
	肺がん受診率	5.4%	5.4%	4.8%	5.0%	4.9%	4.8%	3.9%	4.3%	4.7%	6.1%
胃がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	9,904	9,477	8,658	8,952	8,930	10,596	9,972	11,205	11,607	11,914
	胃がん受診率	2.4%	2.3%	3.2%	3.0%	2.9%	3.4%	3.8%	4.0%	4.3%	4.5%
大腸がん	対象者数(全人口)	416,188	420,702	418,206	426,774	429,748	432,496	435,170	437,184	438,822	440,916
	受診者数	22,194	22,512	18,108	19,763	21,817	21,725	19,781	22,436	22,139	23,048
	大腸がん受診率	5.3%	5.4%	4.3%	4.6%	5.1%	5.0%	4.5%	5.1%	5.0%	5.2%
乳がん	対象者数(全人口)	228,879	231,220	230,316	233,702	235,310	236,738	238,142	239,202	239,874	240,929
	受診者数	14,183	11,491	9,287	10,199	13,282	14,403	13,137	13,783	13,789	14,946
	乳がん受診率	10.9%	10.6%	8.3%	8.1%	9.6%	11.4%	11.3%	11.0%	11.3%	11.7%
子宮頸がん	対象者数(全人口)	318,399	318,762	319,447	317,810	318,049	318,096	318,681	318,596	318,783	319,115
	受診者数	23,530	16,973	13,095	17,949	20,534	24,275	24,258	27,009	25,747	27,449
	子宮頸がん受診率	13.0%	12.5%	8.9%	9.7%	12.0%	14.0%	15.2%	16.0%	16.5%	16.6%

※胃がん・乳がん・子宮頸がん検診受診率=(該当年度受診者+前年度受診者-2年連続受診者)/対象者数(胃がんはH28年度以降)

※対象者数はCネット統計による住基人口で算出。H28年度対象者は国調ベース。